

令和3年度 大垣市教育振興基本計画評価委員会 第2回会議録

- 1 **と き** 令和3年7月29日（木）13:00～14:25
- 2 **と ころ** 大垣市役所8階 大会議室
- 3 **出席者** 長谷川 哲也委員長、田村 弘司副委員長、比留木 修委員、
佐野 篤委員、三代 広子委員、川合 麻美委員、井上 瞳委員、
高田 美穂委員
- 4 **事務局** 山本教育長、寺嶋事務局長、山下庶務課長、神谷学校教育課長、
堀内教育総合研究所長、堀社会教育スポーツ課長、宮内文化振興課長、
説田南部北部上石津学校給食センター所長、加代図書館長、
吉安庶務課主幹、天野庶務課主査
- 5 **傍聴者** なし
- 6 **議 題**
- (1) 図書館活用について
 - (2) スポーツ推進について
 - (3) 令和2年度大垣市教育委員会の活動状況について
 - (4) その他について

7 会議録

- (1) 図書館活用について
資料No.2に基づき、加代図書館長が説明。
以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	46ページの指標1「貸出し冊数」の実績が、1割強の減になっていますけれども、4月4日から5月31日までの約2か月間の閉館をしていたことを考えると、この実績はすごく高いと思いました。 目標を策定するとき、人口が減っていて貸出し冊数が減っているということがあったと思いますが、コロナ禍でもこれだけ貸出しがあるということで、図書館は市民の皆さんに本当に必要とされている施

発言者	発言概要
	<p>設だと改めて感じました。</p> <p>自己評価は評価不能と書いてありますがけれども、こういう状況下で必要とされる施設だと証明している気がするので、非常に評価できると思いました。</p>
加代 図書館長	<p>2か月間の休館は影響が大きく、貸出し冊数は減少しましたが、予約していただいた冊数は逆に増えております。令和2年度は、103,730件の予約があったのですが、前年度は101,182件で、2,500件ほど増えました。やはり本を読みたいと思われる方は、たくさんいらっしやっただと思います。</p>
委員	<p>52ページの指標1「図書館利用目的達成度」ですけれども、具体的に何を達成したという指標でしょうか。もう少し具体的に教えてください。</p>
加代 図書館長	<p>図書館利用目的達成度でございますが、今年の4月に図書館の利用に関するアンケートを行いまして、その質問の中に「図書館の利用目的について達成しているか教えてください」という項目がございます。来館者は、調べ物をしたり、本を借りたり、目的を持って来館されると思いますが、その目的が達成できたか否か、満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満という5段階で回答していただき、満足と答えられた方が61%、やや満足と答えられた方は31.2%ということで、実績の92.2%を記載させていただいております。</p>
委員	<p>分りました。もう1つブックスタート事業というのがありましたが、コロナの影響で絵本の受け渡ししかできなかつたということですがけれども、やはり、本来のブックスタート事業の目的は、実際に読み聞かせをしながら本の楽しさを伝えていくことだと思います。</p> <p>ブックスタートの受け渡ししかできなかつた代わりに、親子で読み聞かせを楽しんでもらえるような工夫は何かされたのでしょうか。</p>
加代 図書館長	<p>ブックスタート事業につきましては、毎回4か月健診の時に、ボランティアの方たちに、その場で読み聞かせをしていただいて、絵本の楽しさを伝えていただいております。しかし、今回コロナによって読み聞かせが全く出来なかつたので、ご提案を参考に検討してまいります。</p>
委員	<p>47ページの基本施策2にありますデジタルサイネージですが、デジタルサイネージでお知らせ等が流れているだけで雰囲気はすごく明るくなった感じがして良いなと感じました。</p>

発言者	発言概要
	もう1つは、51ページの基本施策2のレファレンスサービスですが、これは、全国的に情報を共有するという点で良いでしょうか。
加代 図書館長	レファレンスサービスですが、レファレンス協同データベースというものが、国立国会図書館のホームページで公開されています。また、大垣市のレファレンスに関しましては、郷土に関する質問等が多数ございますので、市の図書館のホームページで公開させていただいております。
委員	昨年度の開館日数が2か月ほど少なかったという中で、非常に努力されている結果が出ていると思います。貸出し冊数も、外国人利用登録者数もなかなか多いと思います。非常に環境が厳しかった中、他の図書館と比較しても、積極的に新しいことを取り入れて、非常に評価できるのではないかと思います。本を機械に入れて消毒できるようにしたことや、デジタルサイネージを使った宣伝など、いろいろなことに努力されたので、これからも引き続き頑張ってくださいと思います。あと先日、新聞に出ていましたけれども、協定を結びましたね。
加代 図書館長	株式会社アルファポリスと連携協定を締結させていただきまして、絵本の電子書籍を無償提供していただき、図書館のホームページ等で誰でも読めるようにしております。
委員	デジタルで絵本が読めるということですが、これも非常に先進的な取り組みですので、この調子で進めていただければと思います。 私も図書館に関わらせていただいておりますので、アンケートを詳しく見せていただくと、非常に良い評価がたくさんありますし、スタッフの対応も非常に良いということで、喜ばしいと思っております。 ただ、市民への浸透という部分では、もっと宣伝しても良いと思いますので、たくさん宣伝していただいて、自信を持ってやっていただけると良いと思います。
委員	45ページのブックスタートパックの手渡しが1,065人分と書いてありますが、来られた方に配ったということですか。
加代 図書館長	保健センターに来ていただいた方に対して、ブックスタートパックをお渡ししております。
委員	私も読み聞かせボランティアをさせていただきましたが、この1,065人分というのはとても少ないと感じました。図書館ホームページのアクセス件数が250,000件もあるのに対して、1,000人分ぐらいしか配っていないのかと思ったものですから、来ていない子どもにも配るとい

発言者	発言概要
	うのはどうでしょうか。
加代 図書館長	過去の数字を見てみますと、平成30年度は1,243人、令和元年度は1,112人ということで、前年度と比べるとそれほど減っていません。またブックスタートパックを親子にお渡しする機会を、図書館だけで作ることはなかなか難しいため、保健センターでの4か月健診に合わせて、ブックスタートパックを渡しています。
委員	健診の時にもらうものだと思っていたので、人数はその年に生まれた数かなと理解しています。
山本 教育長	1年間に大垣で生まれる子どもの数は、約1,200人程度だとお考えいただければと思います。
委員	<p>専門外ではあるのですが、図書館について少し研究させていただきまして、コロナ禍で図書館の全国的な動向を見ますと、それほど貸出し冊数が減っていませんでした。もちろん緊急事態宣言がある地域とでは違うので、閉館されていた時期が必ずしも統一されていないですけども、意外と変わりません。そのため、先ほど委員がおっしゃったように、コロナ禍でも、市民の図書館へのニーズが非常に高いということが、今回改めて浮き彫りになっている状況だと感じています。</p> <p>今回のデータで注目したのは、デジタル化のところですよ。例えばホームページのアクセス件数などが非常に増えています。開館情報の確認もあったと思いますけれども、裏を返せば、図書館のホームページに可能性があるということです。つまり、それだけ市民が図書館のホームページにアクセスする可能性が潜在的にあるということが浮き彫りになっていますので、このホームページを活用した図書館の情報発信というのは、このコロナ禍で非常に有効ではないかと思います。</p> <p>それから、50ページの指標2「郷土資料デジタルライブラリー閲覧件数」ですけども、こちらも非常に増えていて、令和6年度の目標を達成してしまっている状況にあります。やはりこうしたデジタル化が図書館のこれからの活動の幅を広げていくと思います。</p> <p>一方で、全国的な動向でもありますがけれども、コロナ禍で図書館の利用者の中で一番困っているのは、やはり利用弱者と言われる方です。例えば、高齢者の方であるとか、外国籍の方であるとか、あるいは体の不自由な方とか、そういった方たちの利用が難しくなっているとされています。</p> <p>そこでお聞きしたいのが、48ページの指標2「外国人利用登録者数」</p>

発言者	発言概要
	ですが、これは累計ということでよろしいですか。
加代 図書館長	この1,043人という実績は、年度末の登録者数です。図書館の利用カードは、5年で更新期限がありまして、更新されない方の人数は、この数に含まれておりません。単純に30年度の実績から増えたというわけではなく、更新されず減少した人数も反映しております。
委員	分かりました。いわゆる利用弱者の方々が利用しづらい状況が、この外国人利用登録者数に現れているとするならば、こういった方々への支援を、もう少し手厚くやっていく必要があるのではないかと思いますので、これからの活動の参考にさせていただければと思います。

総合評価について採決。異議なしのため原案のまま可決。

(2) スポーツ推進について

資料No.2に基づき、堀社会教育スポーツ課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	58ページの基本施策3に、「スポーツ教室や施設の空き状況などをHPで周知」と書いてありますけれども、大垣市の体育施設等について、インターネット上で予約するシステムがどの程度あるのか、また、その利用率とか利用人数が、どれくらいあるのか教えてください。
堀 社会教育スポーツ課長	体育施設につきましては、大垣市体育連盟に管理を委託しております。予約システムにつきましても、体育連盟のホームページから入っていく形になっております。 体育施設を使用する場合には、1つルールがございます。10人以上の団体で登録していただくほか、半数が大垣市に在住在勤であることが条件でございます。初めに団体登録をしていただいて、その後、ホームページ上で予約する形になっております。件数に関しましては、手元に資料がございませんので申し訳ございません。
委員	私も体育館を利用させていただいておりますが、個人的に予約できる場所がごく少なく、いつでも誰でも使えた北部体育館がなくなってしまいました。総合体育館でバドミントンコートを土日の一般開放で利用しようと思うと、現地に行って朝から行列になります。8時から受付開始でも7時半には並んでいて、大変厳しい状況です。 これからの行政サービスを考えると、人が直接行かなくても、リモ

発言者	発言概要
	<p>一トで行政サービスを受けられるよう進めることが、市民にとっても大変ありがたいことだと思いますし、結果的に、サービスに対する評価の向上や、利用者拡大につながっていくのではないかと思います。</p> <p>今までお聞きしてきた中で、令和2年度は、コロナが理由で評価不能が多かったが、令和3年度は、コロナがあっても、そこでどういう行政サービスを提供したかということが、大きな評価のポイントになっていくのではないかと思います。</p>
委員	<p>59ページの指標2「意識的に運動している人の割合」の数字は、アンケートで出した数字でしょうか。</p>
堀 社会教育 スポーツ課長	<p>意識的に運動している人の割合は、アンケート調査をして出しております。今回は、495人にアンケートをとりまして、ほぼ毎日していると回答した人が66人、週3以上と回答した人が81人、週1程度と回答した人が101人で、計算しますと50.1%の方々が週1回以上運動されているということになります。</p> <p>また、この数字は平成30年度から大きく伸びていますけれども、このコロナの影響で在宅時間が増えたこともありまして、その時間を使ってスポーツをされる方が増えたと考えられます。これは、全国的にも同様の傾向でございます。</p>
委員	<p>59ページの指標2「意識的に運動している人の割合」は、全国的な数字は出ていますか。それから、55ページの指標1「小中学生スポーツ活動実施率」は、全国平均に対して大垣市はどうかということと、指標2「全国・国際大会等への出場者数」は、令和2年度は置いておいて、人口対比で考えて大垣市の出場件数が多いのかどうか。何か比較するものがないと、この数字を見て多いのか少ないのか分からないので、全国平均と比較してどうか分かれば教えてください。</p>
堀 社会教育 スポーツ課長	<p>まず59ページの指標2の割合につきましては、スポーツ庁が公表しておりますが、手元に資料がございませんので正確な数字が分かりませんが、60%を少し切るぐらいの数字だったと思います。</p> <p>続いて、55ページの指標1につきましても、全国平均はあると思うのですが、手元に資料がございませんので申し訳ございません。</p> <p>あと、指標2につきましては、全国データはないと思います。この指標の結果は、その年その年の選手のあり方によって、多い時と少ない時がございます。</p>
委員	<p>数値を見させていただいて、小中学生スポーツ活動実施率であると</p>

発言者	発言概要
	<p>か、あるいは意識的に運動している人の割合が目標を達成しているということで、やはりコロナ禍で体動かすことについて改めて見直される機会が増えたのだと思います。最近感じるのが、民間のジムが増えて、夜中までやっているジムもあって、そういったところの活用も多いのかなと思います。</p> <p>そのためスポーツに関しては、民間で行われていることと、行政サービスとしてやっていくことの棲み分けも考えていく必要があるのかなと思いました。</p> <p>スポーツは、コロナの影響を非常に受けやすいということが如実に出ていますので、こうした対策について、来年度考えていく必要があると思います。</p>

総合評価について採決。異議なしのため原案のまま可決。

(3) 令和2年度大垣市教育委員会の活動状況について

資料No.2に基づき、山下庶務課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	小中学校の視察が2件と書いてありますが、なぜ2件なのでしょう。全校回っても良いと思います。
山下 庶務課長	<p>教育委員会としては、学校訪問という形で、全ての学校を訪問し、学校の状況について確認しております。</p> <p>教育委員につきましては、市内の施設や学校を視察しているということでございます。</p>
委員	教育委員会の視察があると、先生方も気を引き締められると思うので、ぜひ全校回っていただきたいです。
山本 教育長	教育委員会は、基本的に毎年全校回りますので、私は全校見ております。学校を会場として定例会を開くのが、年間12回の中、昨年度ですと2回開催させていただいたということです。
委員	学校の視察ですが、この評価委員会のメンバーが学校見学したことが何年か前にありました。もし来年度、機会がありましたら、実際の教育現場を見させていただければ雰囲気分かるかなと思ったのですが、いかがでしょうか。
山本 教育長	検討させていただきます。

発言者	発言概要
委員	この審議件数は多いのですか、少ないのですか。また、どのようなことを審議されているのですか。
山下 庶務課長	審議件数については、昨年度が72件ですので、大きな変更は無いかと思えます。審議内容につきましては、補正予算の審議ですとか、施設の運営委員会の委員選任などの議案を審議していただいております。
山本 教育長	<p>審議の内容はさまざまですけれども、ここに集まっていたいただいている評価委員の皆さまも、教育委員会で審議して承認していただいております。いろいろな委員会が教育委員会にあり、その委員は全て教育委員会で審議しております。また、予算や人事に関することも教育委員会に諮り、審議しております。</p> <p>したがって、各所属に関わる重要な事項は、教育委員会に諮り審議することになっておりますので、そういう意味でいろいろな議案が審議されているとご理解いただければと思います。</p>

総合評価について採決。異議なしのため原案のまま可決。

(4) その他について

発言者	発言概要
委員	形式の問題で、先ほど図書館活用のところでもお聞きしたのですが、数値によっては累計が含まれています。例えば、社会教育の学校支援ボランティアなどの登録者数や、スポーツ推進の日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数なども累計だと思われれます。累計のところは累計とわかるような表記を統一してされた方が良いと思います。

閉会